

第67号

令和3年(2021年)5月10日

発行人

NPO法人成田・里山を育てる会

成田・里山通信

 理事長
電話
事務局
電話

 富樫 武
0476-27-3487
相原 亮司
0476-35-1550

新年度(2021年度)にあたって

務局長 相原享司



この一年、新型コロナが猛威を振るう中で里山活動を続けてきました。これからも状況は変わりません。感染に注意し、安全にも留意して活動を続けていきたいと思います。

これまで私たちの会は、荒れた山林や竹林を整備し、植林を続け、草刈りをして里山を育ててきました。こうして里山遊歩道もアグリパークも里山らしい景観となりました。

昨年から密生気味の桜やクヌギの間伐を始

め、現在本格的な里山づくりの段階に入ってきました。会員全員で樹木や野草を観察し、植物・昆虫の知識を出し合っ多様な里山づくりを行っていききたいと思います。絶滅の恐れのある野草を保護し、自生して大木となった山桜を保存するなど、会員みんなで工夫を凝らしながら豊かな里山を作りあげていきたいと思います。



ブルーベリー花

令和3年度 会員総会(4月17日) 遠山公民

4月17日 成田・里山を育てる会の令和3年度、年次総会が遠山公民館で開かれた。

当日の会員総数38名に対し。出席者18名委任状13名で総会は成立

役員人事：令和2年度のメンバーが令和3年度も引き続き務める

コロナ禍により総会会場が人数制限され会員全員が出席できない事態となった里山通信で総会結果を報告します。紙面の都合で令和2年度の事業報告は省きます。令和3年度の事業計画概略は以下の通りです。

- 1、山林整備 毎月第3日曜日 定例作業日
里山遊歩道アグリパークは第二段階の活動を継続
 - ① 山林所有者の要望で山林整備支援、植林、枝打ち、間伐を行う
山林整備は自然環境保全に重要な要素となる荒廃した森林の整備活動を強めたい
 - ② 建築用材の生産林整備、植林、枝打ち、間伐
畑ヶ田地区の山林 果樹園隣のヒノキ林
 - ③ 里山遊歩道 毎月第1土曜日 自由参加
 - ④ アグリパーク整備作業 第4日曜日 自由参加
アグリパーク内 野草の動向調査
ロウバイの育成 整備、菜の花育成
在来のヤマザクラの古木保全、常緑樹伐採
- 2、学校林整備
遠山小学校林整備を児童、PTAと共に行う
- 3、遊休地、活用のための果樹園
栗 ブルーベリーなど果樹育成
- 4、市民農園の育成 遊休地で希望者が家庭菜園
果樹園に隣接する10アールの畑に会として、ジャガイモ落花生 黒豆 さつま芋を栽培、篠竹伐採地にミカン、キーウイフルーツ植樹

- 5、里山・環境に関する広報
市民講演会はコロナで中止、里山通信 定期的に発行
* ホームページの運営 (武石理事)
- 6、小学生・親子の自然教育推進
- 7、自然生息の昆虫育成を通し子供たちの自然への参加を図る
- 8、間伐材利用のための教室
工作教室 藤棚作り 薪割り教室
- 9 他のNPO団体との交流
互いに情報交換。里山センターへの参加
- 10、会員の研修
山林の勉強会里山関係の図書収集
成田近郊山林の実態調査
- 11、会員の親睦、その他
賛助会員の募集
会員の道具(鋸、ナタ)など購入費用は会費負担、管理保全是個人が行う
活動日の弁当、飲み物提供
- 12、安全教育の徹底
ヘルメット着用、作業中の安全確認
安全講習会への参加
*全議案、賛成多数で承認可決された
*月例活動の他自由参加作業あり

正会員：里山再生活動に参加し、会員相互親睦を図り、総会にも出席する
年会費：2,500円(含・保険)

賛助会員：会の趣旨に賛同し援助する
年会費：2,000円(含・保険)
会のイベント、桜ウオーキング
ランチバイキング、秋の研修旅行
果樹園、畑の収穫、里山通信購読などが出来る

武石博實氏 新会計担当に就任

会計からのお願い
 会計に領収書を提出の際、領収書に提出者の名前を記入して下さい
 会計事務の簡略化に御協力をお願いします

2月 3月 4月 活動&イベント

2月6日 遊歩道 自由参加 10名
 キノコ栽培のボタギ作り
 前回伐採したクヌギの木をキノコ用ボタギサイズに切断し果樹園に運ぶ作業
 竹伐採跡地の植林準備
 苗植え付けに必要な土用意
 未整備竹林 竹伐採

2月7日 果樹園 自由参加 17名
 菜の花畑展望台用材料揃え
 ヒノキの間伐材は再築する花見台の再築材として利用する
 栗 スモモ 選定
 隣接の篠竹刈り倒しと粉砕

2月21日 果樹園 定期活動 18名
 キノコ種駒打ち込み作業
 栗選定
 *野外活動体験親子のプログラム第3期生、最後の実習日。1年間の実習体験で日常生活にない貴重な体験が出来たと思う。食事の材料が手間と時間をかけて栽培されていることが理解出来たでしょう。

2月28日 アグリパーク 自由参加 11名
 *菜の花 花見台作り
 現在の花見台が木の腐食で新築することにした、安全性を考慮し床は平らな板張とし階段には手すりを付けた。
 *植栽の移植と新規植え付け
 ローバイ畑にあった山法師3本をメイン・ストリート（アグリパーク入口から奥まで続く中央の道）の脇に移植。移植した山法師の跡地と既存のローバイの空間にも新たにローバイを植え、この場所を菜の花同様（ローバイの名所）として育てたい。

2月 3月 4月 活動&イベント

3月6日 遊歩道 自由参加 13名
 竹伐採跡地 サクラ植樹
 伐採した竹が腐敗するのに3年近く要し、ようやく目的のサクラ、モミジなどの植樹にこぎつけることができた。

そしてさらにこの場所がサクラの花で彩られるのにまた歳月がかかるが、急がずあせらずゆっくり里山作りを進めていきます。



キノコ種駒打ち込み（2021年2月）
 写真 上、下



3月7日 果樹園 自由参加 12名
 ①篠竹林跡地に蜜柑とキーウイ植樹
 温州ミカンを主体にスタチ、キーウイー
 ②共同農園ジャガイモの植え付け
 ③篠竹林刈り通し
 ④アグリパークの展望台仕上げ
 ⑤栗剪定
 *刈り倒し中の篠竹 北面の一部は冬の北風から柑橘類を守る防風林としたい。



花見ヤグラ作り

成田周辺で見る山野草 ④2

ハシリドコロ (走野老)

ハシリドコロは、ナス科ハシリドコロ属の草本。別名、キチガイイモ、キチガイナスビ分布

本州から四国・九にかけて分布する多年草
山間の湿った木陰に群生する。

特徴

早春に葉に包まれた新芽を出し40~50cmに成長
夏先には休眠に入るため枯れる、夏から冬まで見ることで典型的な春植物である

花期

4月~5月に釣鐘状で暗紫紅色の花を咲かせる
名前の由来

食べると錯乱して走り回ること、また、根茎がトコロ(野老)に似ていることから

*トコロ(野老)山芋に似た毒性のある植物
注意

全草に毒があり、根茎と根が特に毒性が強い
春先に葉に包まれた新芽がフキノトウに似ているため間違われることがある



ハシリドコロ



ハシリドコロ新芽



フキノトウ

2月 3月 4月 活動&イベント

3月27日 アグリパーク 自由参加 14名
アグリパーク 植林したサクラ、在来のヤマザクラの古木の調査(各種見分けるのは花期のこの時期しかできない)

これまでは放置林を整備し植林が主体だったが、歳月を経て樹木の成長に伴い間伐が必要になってきた。本日の調査は林の構成に合わせて伐採する木を選び目印を付ける作業

*コロナ禍の今、人間も密を避けて生活している、林の木々も密から守ってやらなくてはならない。

3月28日 タケノコ掘り竹林整備 13名
毎年お世話になっている佐藤さんの竹林、枯れた竹や小さな竹など取り除き、安全なタケノコ掘りしたい。

4月3日 遊歩道 自由参加 10名
前回に続き植林、竹林伐採
遊歩道坂道の清掃
*例年より早いサクラの花。それに伴い草や木々の新緑が見られるようになった。
また今年も草刈りの季節です。1年のサークルはあっという間です。

4月4日 サクラ・ウォーキング 22名
例年より早いサクラ開花で主役のソメイ・ヨシノは葉桜気味だったがヤマザクラとオオシマサクラが頑張ったのでサクラウォーキングの面目が保てた。

*ホテルの会食はできなかったがその分ゆったりした気分散歩。途中筍やクレソンを摘んだり、春を充分味わえた。

4月17日 23名
タケノコ掘り20名
総会 18名
午前中3班に分かれ
タケノコ掘り
会員と賛助会員、子供連れと多彩な顔触れの参加

*11時から令和3年度
会員総会
*来賓の出席なし 筍達は密でした
議事は例年通り進み
全議案承認、賛成多数で可決された



4月25日 アグリパーク 自由参加 11名
植林した場所の下草刈り
藤棚周りの草刈りや整備
新設の菜の花、花見ヤグラ床板取り外し
毎年使う予定の床板は取り外し、風雨から守るため屋内で保管することになった。

2月 3月 4月 活動&イベント
参加 延べ人数
174名

親子・野外実習体験 参加者募集中

親子野外実習体験のプログラムは2018年6月にスタートし今年第4期生募集中です。

親子の実習体験
指導者：武石さん

- 1. 参加者の応募資格 小学生と保護者 5組
- 2. 参加費(実習 5回分) 1組千円
- 3. 実修内容(2021年度予定)
 - ① 6月6日(日)
成田・里山を育てる会、活動紹介
落花生 さつま芋 植え付け
 - ② 8月1日(日)
落花生、さつま芋 除草
ブルーベリー摘み(収穫物お持ち帰り)
 - ③ 10月3日(日)
落果生収穫、栗拾い(収穫物お持ち帰り)
 - ④ 11月7日
さつま芋堀り(収穫物)お持ち帰り



初回参加の皆さん

- ⑤ 2月7日(日)
椎茸 種駒打ち込み
ボタ木 お持ち帰り(希望者)

XXXXXXXXXX

NPO法人 : 成田・里山を育てる会
お問い合わせ 武石 090-3909-0476

XXXXXXXXXX

アグリパーク は 心のオアシス

3月14日(行楽日和)

雨上がりの上天気で菜の花や水仙が咲き乱れるアグリパークは子供連れの親子、また、(菜の花 飛行機、青空)のコラボレーションを写真の題材にとシャッター音があちこちから聞こえていた。

菜の花のシーズンを迎え劣化した花見台を新しく作り直すことになった。
アグリパークの菜の花の知名度も上がり、多くの行楽客が訪れるようになった。
花見台新設を機に床は板張りとして安全性を高めたので多くの方に来てもらい、里山の中に身を置き自然に溶け込んでもらえれば。
*足元の安定で幼児から高齢者まで安心して菜の花見物が出来ます。



ママ!自分で出来るよ...ほ-らね
菜の花の中の散歩道(下)



写真はいずれも 3月14日(日曜日)撮影
飛行機からも菜の花見物が(下)

